

# 8 省庁と 26 項目要求で交渉

日本共産党の参院奈良選挙区・かまの祥二候補、山村幸穂、小林てるよ、今井光子、宮本次郎、太田あつし各奈良県議、河合、王寺、平群の各町議らは 6 日、8 省庁と 26 項目要求で交渉。山下よしき参院議員、穀田恵二、宮本岳志両衆院議員、清水忠史前衆院議員が同席しました（写真）。



運用に支障がないよう、次年度から電気代を交付税に反映したい」と回答しました。

## ●総務省 学校エアコンの電気代支援を表明

小中学校のエアコン設置は国が 822 億円の補正予算を組み、奈良県も小・中学校の普通教室に設置する市町村に財政支援します。遅れていた奈良でも大きく前進する見通しですが、電気代を気にしてデマンド警報（契約した電気量を超えた場合、追徴金がとられることを知らせる警報）が鳴ると、エアコンを切ってしまう学校もあります。交渉では、市町村が負担する電気代への支援を求めたのに対し、総務省は「全国で実態調査し、エアコンの

●太陽光発電 要綱項違反なら指導 平郡町で住宅地の近くに大規模な太陽光発電所が建設され、豪雨などで泥水が住宅地やため池に流入している問題について、経産省は「町が作った要綱に違反しているのであれば指導できるので情報提供してほしい」とのべました。

交渉では▽台風による農家被害に関わり「共済のメリットがない」として果樹共済に 9 割以上が参加してない実態があることを指摘、加入しやすい対策を要求▽京奈和道・大和北道路は木簡を保全している地下水脈を地下トンネルで切断する恐れがあるなどとして中止を要求▽県立高校の耐震化▽奈良公園内のホテル建設▽平城宮跡問題などを要望しました。

近畿 2 府 4 県すべてが政府・出先交渉 第 3 回中央委員会総会は、総選挙の教訓から選挙戦の日常化を強調し、その中で要求実現活動の強化を訴えました。この下で近畿の各府県委員会は連続した災害対策をはじめ府県民要求を掲げ、地方議員が国会議員と省庁・出先交渉を実施、農業用ビニールハウス修復への国の補助など要求を実現するなど大きな成果を挙げました。

## 雨の中 1500 人が 2 万枚配布

### 受け取りよく「消費税 10% 困る」

近畿いっせい宣伝が 9 日、取り組まれ、あいにくの雨の中、358 力所に 15% の党支部、1574 人、269 議員が参加、2 万 800 枚のビラを配布しました。「近畿民報」に特集された消費税問題の反応が強く「10%は困る。安倍は早く辞めて」の声も。「今日は定例の宣伝ですか、頑張っている」など向こうから話しかけてくれた（滋賀・安土駅）、「美



章園でもやっていたな」（大阪・阿倍野ベルタ前）「法隆寺駅でももらいました」（奈良・王寺駅）などのいっせい宣伝ならではの反応がありました。「雨の日にしてはビラの受け取りがよかった」（滋賀・近江八幡駅）、「どこの宣伝場所でもビラの受け取りがよくなっている」（京都・伏見）などの状況も。

たつみコータロー参院議員は JR 大阪駅御堂筋口で近田やすゆき大阪市議候補（北区）と宣伝。消費税 10%増税について「もうかっている大企業に応分の負担をしてもらえば、増税しなくても財源はある」とのべ、改憲阻止と統一地方選、参院選での日本共産党躍進を訴えました（写真）。

18 年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 42(2018.11.12)